



IPM サポート株式会社

文化財を次代へとつなげる技術と想い



ごあいさつ

文化財保護事業において、25年の経験を積んだ後、もっと文化財IPMを追求したいという思いから、2017年に独立開業いたしました。

先人の遺した物や想いを、現代の私たち、また、後世へと伝えるため、より効果的な文化財IPMシステムを追究し、本質にこだわり、より良い提案とサポートをしていきたい。環境への配慮とそこで働く皆様方の想いも、もっと込めていきたいと考えています。

これまでに培ってきた知識と技術に加え、信念および情熱と共に、「効果的なIPM」を実践しています。

代表取締役 長谷川利行



事業内容

博物館、美術館、図書館等における
文化財IPMサポート

- 1)文化財IPMコンサルティング
- 2)資料保存環境調査業務
- 3)資料保存改善業務
- 4)資料保存商品の企画・販売



総合的なコンサルティングを強みとしています。
保存管理でお困りのことがありましたら、ご相談ください。



当社のロゴマークは、「技術」「開発」「笑顔」の3つの理念を象徴しています。

当社オリジナル商品

捕まる昆虫トラップ、創りました 「IPMトラップ」

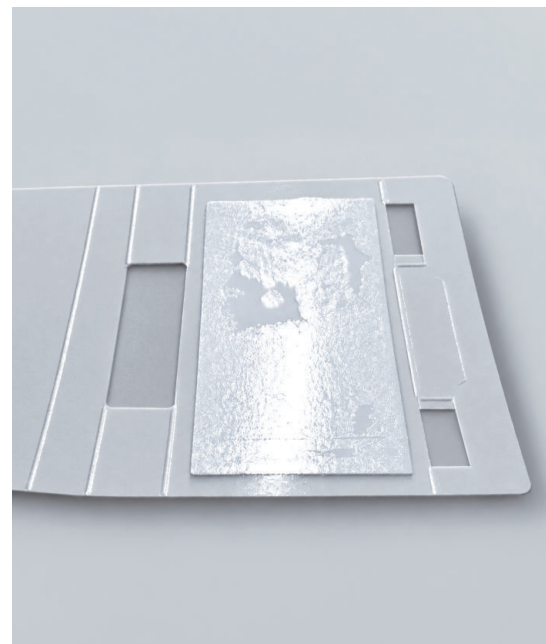


特徴①：【 高い捕虫率 】

昆虫調査用のトラップは、捕獲されて初めて調査が成り立ちます。
当社オリジナル「IPMトラップ」は、小さな虫、大きな虫をも捕獲しやすくした昆虫調査用トラップ。もちろん、捕獲目的としての利用も効果的です。

特徴②：【 デザイン性 】

エントランスや展示室また展示ケース内など来館者様の目に触れる場所にも違和感がないようにシンプルに。
トラップ正面には傾斜をつけて、来館者様から捕獲虫が見えないデザイン。



特徴③：【 捕獲虫がわかりやすい 】

虫が捕まる部分も白色なので、捕獲虫がわかりやすい。
虫の生息を、目視で発見するには限界があるため、トラップを適切に、かつ継続的に仕掛けすることで、詳細な生息状況を知ることが出来、予防にも繋がります。

入数：500 枚 / ケース

*バラ(50 枚)販売可
*価格はお問い合わせください。



特徴④：【 簡単組立て 】

組み立ては谷折りにするだけ。
完成サイズ
W150mm × D80 mm × H25mm



定期的なIPM清掃をおこなう場合も、トラップを設置していることで、清掃重点箇所を割り出し、効果的に清掃による防虫対策をおこなえる利点があります。

効果的に設置しましょう！

虫の侵入を7～8割減少させることができます。

「IPM防虫テープ」



「防虫テープ貼り職人」といっても良いほどの技術やこだわり、経験をフル活用し、床に這いつくばるような姿勢で(!)設置します。

歩いて動く虫は、カベに沿って移動する習性があり、わずかであっても入り込める隙間があると、中に入ってしまうため、0.1 mmの隙間もないようにピッタリと防虫テープを設置する必要があるからです。



扉は人の出入りにより開閉をするため、完全に虫をブロック出来ませんが、防虫テープを設置することで、通常、屋外昆虫の館内への侵入を7～8割減らすことが見込めます。

防虫テープを貼った上から、アルミテープ（色は景観に合わせて変更）を貼り、補強します。

防虫テープは、扉の開閉回数や床面の形状によっても変わりますが、通常2年ほど効果が持続します。



扉には、親子ドア、両開きドア、引き戸、自動扉と、さまざまなタイプがあり、扉の構造なども様々です。その都度、工夫をして設置します。

玄関扉など来館者様から見える場所も踏まえ、館の景観を損なわないように配慮し施工します。



隙間なく貼る技術ごとにお求め下さい。
効果を実感できる対策です！

《自動扉》

【写真・左】設置前の隙間状況

【写真・右】防虫テープ設置後の状況

この防虫テープの厚みは1 mmもないため、スライド自動ドアなど隙間がない場所にも効果的に設置することができます。また埃や虫などが付着しにくく、衛生面にも配慮しています。

資料保存環境調査業務

昆虫類生息調査

【 昆虫類トラップ調査 】



I PMトラップを効果的なポイントに設置して、生息状況を把握します。

【 昆虫類目視調査 】



虫の発見、棲息しやすい場所、侵入しやすい場所を確認します。

【 昆虫類原因究明調査 】



文化財害虫などが発生している原因を究明します。
図) ネズミ類の死骸から発生したヒメマルカツオブシムシ、ヒメカツオブシムシ。

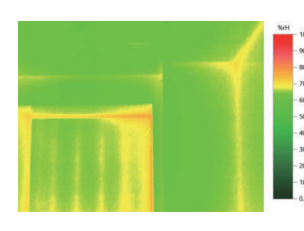
温湿度調査

【 表面湿度画像調査 】



建物設備構造の表面湿度を撮影し、漏水、雨漏り、問題箇所を調査します。

【 表面湿度画像調査 】



相対湿度と表面温度を演算し、表面湿度画像を表示させます。

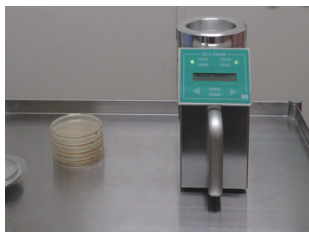
【 温湿度計 】



温湿度をグラフ化し、適正確認や問題究明の基礎データとします。

カビ類生息調査

【 浮遊カビ調査 】



高捕集率のエアーサンプラーを用いてカビを採取、生息状況を調査します。

【 付着カビ調査 】



滅菌綿棒にてカビを採取し、カビの生死や種類などの生息状況を調査します。

【 カビ類目視調査 】



カビ類の発生分布を調査し、問題究明のための基礎データとします。

空気環境・紫外線等調査

【 気相調査 】



有機酸・アンモニアの濃度をppbの数値として測定します。

【 照度測定 】



照度を測定することで、文化財を展示・保存する際の、資料劣化の少ない適正保存環境であるかを確認します。

【 紫外線強度調査 】



紫外線強度を $0.1 \mu\text{W}/\text{cm}$ 単位で測定します。
古い一般蛍光灯などは1.0以下の場合も多くあります。

資料保存改善業務

【収蔵庫清掃】



HEPAフィルタ付掃除機、マイクロファイバークロスでの除塵。空調、照明、棚の清掃の様子。



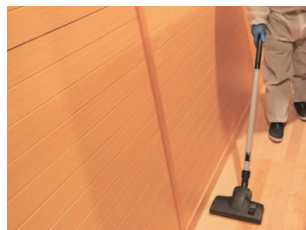
HEPAフィルタ付掃除機による除塵処理。高所の除塵もお任せください。



吸引力の高い掃除機を使用しています。IPM清掃は隙間の除塵こそ重要です。



狭い棚下も専用の清掃用具で丁寧に除塵します。



床面も吸引力の高いHEPAフィルタ付掃除機で床面もしっかりと除塵します。



局方消毒用エタノール、または精製水による清拭処理を実施します。

【隙間埋め処理】



揮発性有機化合物の少ないシーリング材などを用いて隙間に充填します。



虫が棲息しやすい壁の立ち上がりとの隙間。

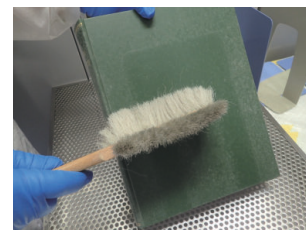


虫の棲息場所を排除することにより、発生を予防が可能となります。

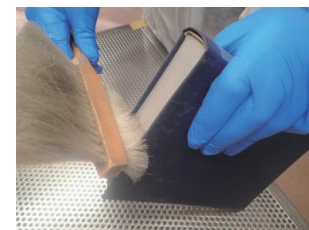
【書籍清掃】



カビの発生した書籍。人が触れても安全な書籍にリセットします。



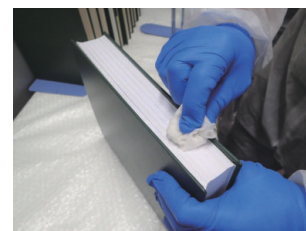
表紙・裏表紙、天・小口・地、見返しのカビや塵埃を柔らかな刷毛にて掃います。



特に天は塵埃が溜まりやすいため、しっかりと掃います。掃ったカビなどは吸引式集塵機が確実にキャッチします。



除塵と同様の箇所を局方消毒用エタノールでしっかりと清拭除菌します。



細かい天の表紙部分もしっかりと除菌します。

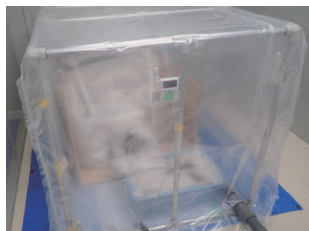


書架を局方消毒用エタノールにて清拭処理をしてから、リセットされた書籍を戻します。

資料保存改善業務

資料保存商品販売

【 二酸化炭素殺虫処理 】



ガスバリアシートを熱溶着して資料を包み込み、二酸化炭素により殺虫処理を行ないます。

【 炭酸ガス製剤噴霧 】



防虫剤を含有する炭酸ガス製剤の噴霧により、昆虫類の生息を抑制させます。

【 防虫テープ施工 】



室外からの昆虫の侵入を防ぐため、扉下の隙間にテープを設置します。扉の構造に応じた施工をします。

【 IPMTラップ 】



日常の昆虫調査また来館者玄関や従事者用玄関などの虫の侵入しやすい箇所に捕獲目的として設置することも重要です。

【 モルデナイベ 】



受入資料や虫の発生が疑われる資料などを脱酸素剤と共に袋内に入れ、ジップすることにより簡単に殺虫することが可能です。

【 エコミューアーFTプレート 】



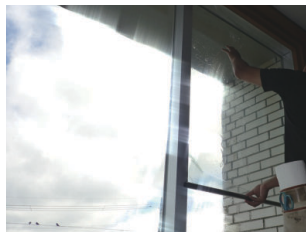
文化財用防虫プレート。虫のつきやすい収蔵物の虫害予防や受け入れ資料への虫の減収処理など様々な応用が出来ます。

【 低酸素処理 】



モルデナイベなどによる低酸素殺虫およびカビの成長を抑制させます。

【 紫外線防止フィルム 】



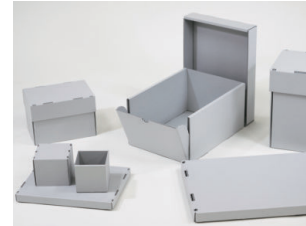
紫外線カット、遮熱、飛散防止、防虫のためのフィルム貼付施工。
展示ガラスの低反射フィルムも施工します。

【 産業用加湿除湿機 】



高湿度による資料の劣化やカビ・虫の発生を予防します。

【 アーカイバル容器 】



中性紙の各種保存箱。ご指定のサイズでの作成もいたします。

【 GasQ ガスキュウ 】



汚染ガス吸着用シート。資料にダメージを与える空気中の有害ガスや、資料から発生するVOCsを吸着除去します。

【 AFエンベローブ 】



資料を劣化させる要因となる酸性環境をはじめ、光やチリ・ホコリなどからまもるための封筒です。

会社概要

商 号 IPMサポート株式会社

設 立 2017年8月1日

所 在 地 千葉県いすみ市岬町中原422
TEL: 0470-64-6824
FAX: 0470-64-6825
e-mail: info@ipm-s.co.jp
ホームページ: <https://ipm-s.co.jp>

ホームページ



代 表 者 代表取締役 長谷川 利行

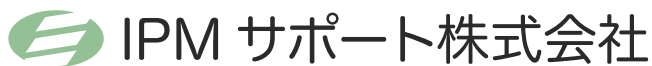
資 格 文化財虫菌害防除作業主任者
文化財IPMコーディネーター
防除作業監督者
わな免許
鳥獣被害対策コーディネーター

加 盟 団 体 公益財団法人 文化財虫菌害研究所
公益社団法人 文化財保存修復学会

主な納入先 文化庁、宮内庁、外務省、東京国立博物館、国立歴史民俗博物館、国立文化財機構、文化財活用センター、東京大学、千葉県立中央博物館、千葉県立関宿城博物館、千葉県立現代産業科学館、千葉県立房総のむら、千葉県文書館、流山市立博物館、船橋市郷土資料館、市原歴史博物館、浦安市郷土博物館、他



多様な知識と技術でお応えするIPMコンシェルジュ



お問合せはこちら



info@ipm-s.co.jp

〒299-4502 千葉県いすみ市岬町中原 422 / ☎ 0470-64-6824

ホームページ



<https://ipm-s.co.jp>